

## QT 鉗子

### 【警告】

●内視鏡の先端部より鉗子等を勢いよく突出させると、粘膜細胞を傷つけるおそれがあるため、ゆっくりと挿入すること。

### 【形状・構造及び原理等】

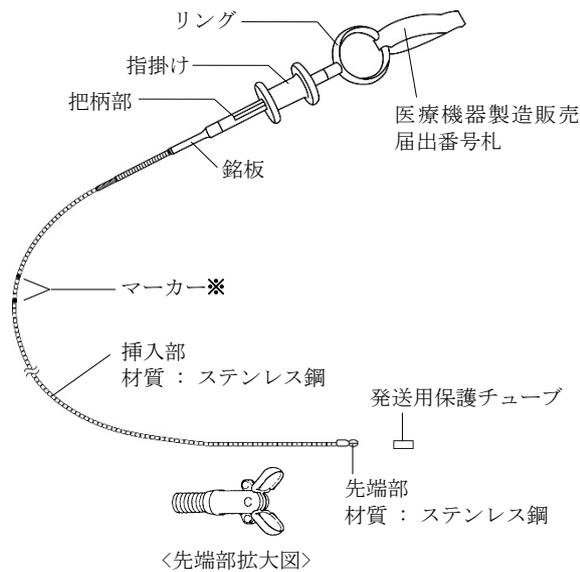
#### 1. 形状

本器は、先端部、挿入部、把柄部から構成されている。

#### 2. 原理

把柄部の開閉操作により内部のワイヤーが駆動し、先端部を動かす。

#### 3. 各部の名称



※マーカーは先端から 600 mm、650 mm の 2 か所にある。

#### 4. 構成

- ① QT 鉗子…………… 1
- ② 発送用保護チューブ…………… 1
- ③ 発送用ケース…………… 1

#### 5. 仕様

型 式	QTBF-1008M	QTBF-0810S
有効長 (挿入部長) ※	800 mm	1000 mm
挿入部径	φ 1.0 mm	φ 0.8 mm
挿入部最大径 ※	φ 1.02 mm	φ 0.82 mm
先端部径	φ 1.0 mm	φ 0.8 mm
先端部長	2.0 mm	1.0 mm

\* ※ この挿入部最大径および有効長だけによって選択された機器に、組み合わせの互換性があることを保証するものではない。

### 【使用目的又は効果】

本器は、内視鏡治療時に専用の内視鏡とともに使用する器具で、組織又は異物の把持、回収、切除等の機械的作業に用いる。電気(高周波、電磁気、超音波、レーザーエネルギー等)を使用せずに作動する。本器は再使用可能である。

### 【使用方法等】

一般的な使用は次の方法で行うこと。

1. 本器を事前に必ず点検すること。
2. 本器を使用前に必ず洗浄および滅菌すること。
3. 内視鏡のチャンネル口に本器を挿入するときは、先端を軽く閉じた状態でゆっくりと入れること。
4. 挿入時に本器の先端部が突出しないよう、挿入部のマーカーを目安にして入れること。
5. 組織や異物の採取は適度な力で先端の開閉を行うこと。過剰な力を加えると故障の原因となることがあるので注意すること。
6. 本器を内視鏡から引き抜くときは、ゆっくりと行うこと。

### 〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- 本器に、抵抗感を感じるような曲げ、ひねりおよび衝撃を与えないように取り扱うこと。[破損のおそれがあるため。]
- 本器は次のような環境で使用する。使用環境：周囲温度 10 ～ 40℃  
相対湿度 30 ～ 75%  
気 圧 700 ～ 1060hPa
- 長時間保管されていたものを使用する場合は、使用前に洗浄および滅菌を必ず行うこと。
- 使用上で異常を発見したときは、直ちに使用を中止し、販売店または弊社に連絡すること。

## 【使用上の注意】

### 〈重要な基本的注意〉

- ・ 本器の操作時および取扱時には、落下させないように注意すること。万一落としてしまった場合は、異常がないことを確認し、必ず洗浄および滅菌後使用すること。
- \*\*・ 本器がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- \*\*・ 本器がプリオン病の感染症患者への使用およびその汚染が疑われる場合には、製造販売業者または貸与業者に連絡すること。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 保管方法

当日の検査終了後、次回の検査が円滑に行えるように次のような処置をしたあと保管すること。

- 1) 本器に付着する水分を全て取り除くこと。
- 2) 本器の全長にわたって異常のないことを確かめること。
- 3) 直射日光や紫外線にあたらないほこりの少ない場所を選び、次のような環境で保管すること。

保管環境： 周囲温度 10 ～ 40℃  
相対湿度 30 ～ 75%  
気 圧 700 ～ 1060hPa

- 4) 感染源となるおそれがあるので発送用ケースを保管の目的に使用しないこと。

### 2. 耐用期間

設定していない(本器は消耗品である)。

## 【保守・点検に係る事項】

### 〈使用者による保守点検事項〉

#### 1. 点検

次のような項目の点検を行うこと。

- ・ 先端部が円滑に開閉すること。
- ・ 先端部が適切に噛み合うこと。
- ・ 挿入部の歪みが無いこと。
- ・ 全長にわたって異常のないこと。
- ・ 先端部、挿入部にサビなどの発生がないこと。

#### 2. 洗浄方法

- 1) 中性洗浄剤等を使った洗浄液に漬ける。
- 2) スポンジと歯ブラシを用いて洗浄する。
- 3) 1分以上洗浄液に浸漬する。
- 4) 流水ですすぐ。
- 5) 超音波洗浄を3分以上かける。
- 6) 清潔なタオル等で拭き、自然乾燥する。

### 3. 滅菌方法

- ・ 本器の滅菌は次のいずれかの方法によって行うこと。
  - 1) 酸化エチレンガス (EOG) 滅菌
  - 2) オートクレーブ滅菌
- ・ 次の消毒・滅菌法は本器の重大な故障の原因になるので絶対に行わないこと。
  - 1) 煮沸消毒
  - 2) 蒸気消毒
  - 3) 乾熱滅菌
  - 4) クレゾール液による消毒
  - 5) 紫外線キーパーによる消毒
  - 6) 強酸性電解水による消毒
  - 7) 塩素系薬液による消毒
  - 8) 放射線滅菌
  - 9) アセサイド(過酢酸製剤)による消毒
- ・ 本器を滅菌する場合は下表の方法で行うこと。

(メーカーは一例)

滅菌法	製造販売業者	使用法 (1回につき)
酸化エチレンガス (EOG)滅菌	(株)ウドノ医機	滅菌温度 50～55℃ 滅菌湿度 50～65% 滅菌圧力 0.108～ 0.118Mpa 滅菌時間 5～12 時間 エアレーション 50～55℃、 10 時間 濃度 EO 20%、 CO <sub>2</sub> 80%
オートクレーブ滅菌 (高圧蒸気滅菌)	(株)平山製作所	135℃ 5分 134℃ 18分**

\*\* ※ハイリスク手技に使用された場合

\*\* ・ 本器がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。本器はオートクレーブ (高圧蒸気滅菌) (134℃ 18分) に対応している。

### \* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社町田製作所

\*\* 電話 04-7165-3083

製造業者

株式会社町田製作所

\*\* 販売 (お問い合わせ先)

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15 (土・日・祝日を除く)